《 子育て講座 》　**「子どもをやる気にさせる家庭の習慣」**　鶴田紀美子元校長

① 「家訓」ある家庭

・ルールを守っているか。ルールを守る者はルールに守られる。

・リズムのある生活をしているか（早寝は心の安定を作る‥不登校にしない基本）。

② 食事と礼儀（知育・徳育・体育・食育）‥ 注意すべき６つの『こ食』

・朝ご飯をしっかりと摂っているか。

・家族一緒の食事を大切にしているか。

・バランスのとれた食事、何でも食べられるような工夫をしているか。

③ 会話増やしで、深まる「家族の絆」

・一日一度は子どもの顔を見て、話を聞き、喜んだり、悲しんだりと感動しているか。

・家事の役割分担をし、会話のきっかけを作っているか。

・物を安易に買い与えないで、努力や我慢する心を育てているか。

④ 過保護・過干渉

・子どもの気付きを大切に考え、実行する習慣を身につけさせようとしているか。

・非行の前には必ずサインがあることを気付いているか（家族の支えが重要）。

⑤ 悪いことは悪いとはっきり伝える

・親が「自分さえよければ‥」とか「ルールに反しても‥」、安易にしていないか。

・自分の行いには、責任があることに気付かせているか。

⑥ 日常の言葉や読書、映像、歌遊びで育つ感性

・歌遊びや豊かな言葉、親が伝える絶対語感などを大切にしているか。

・子どもを連れて、美術館、図書館、子ども美術博物館、科学館などに行っているか。

⑦ 父親の影響

・「友だち化する父親」で、父親の存在が希薄になっていないか。

⑧ 行事で育つ子どもの心

・1 年間の様々な行事を大切にしているか。

・地域の人と仲良く、地域の行事に積極的に参加しているか。

⑨ 意図的でない教え

・愚痴や他人の悪口ばかり言い、暗くなっていないか。

⑩ 仲良し家族 ‥ 思いやりのある明るい家庭

・朝起きたら挨拶を交わしているか。

・家族（特にパートナー）の良いところを褒めているか。

・子どもをギュッと抱きしめているか。